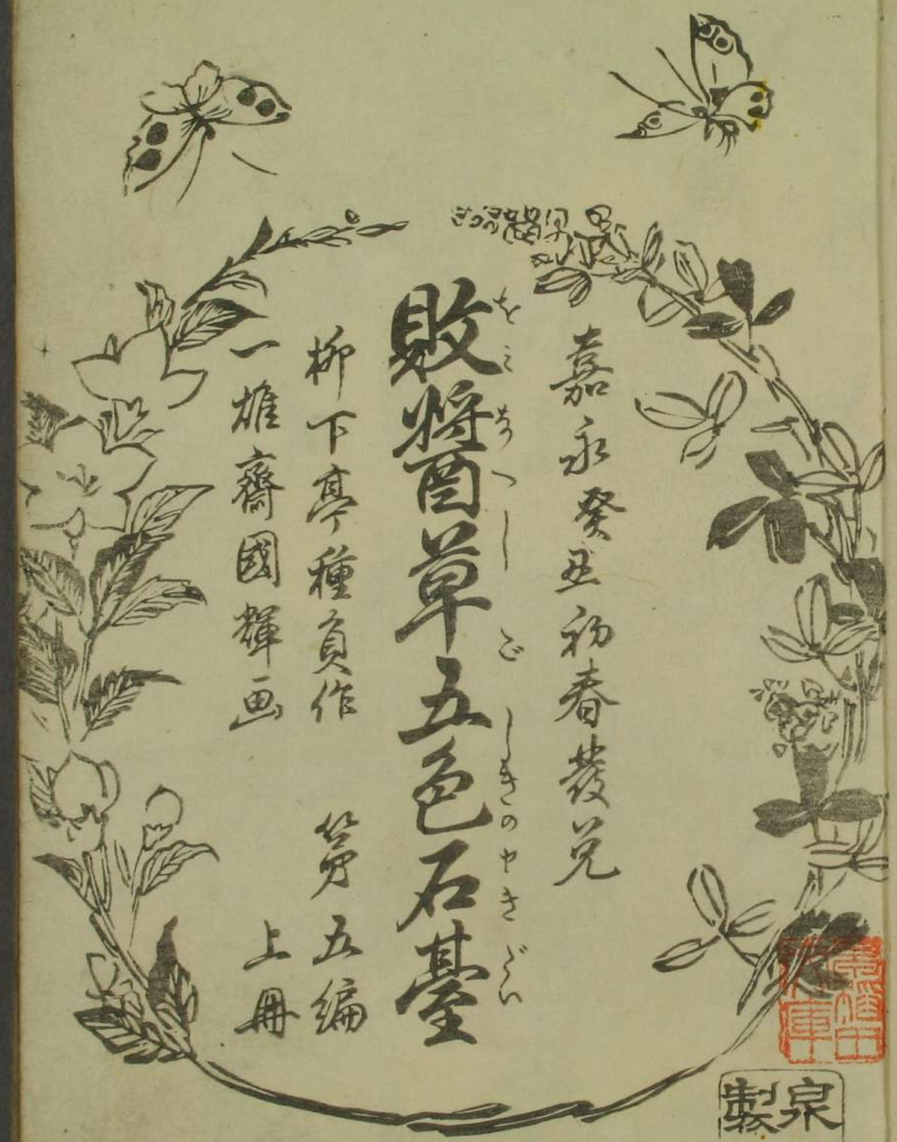
女郎花
五色石墓
第五編
甘泉堂
柳下亭種員作
一雅齋國輝画

へ13
3089
5



嘉永癸丑初春發兌

敗將圍草五色石墓

柳下亭種員作

一雉齋國輝画

第五編

上冊

特
へ13
3089
5
泉市製本

女郎花五色石台　第五編

一雄齋画

柳下亭作

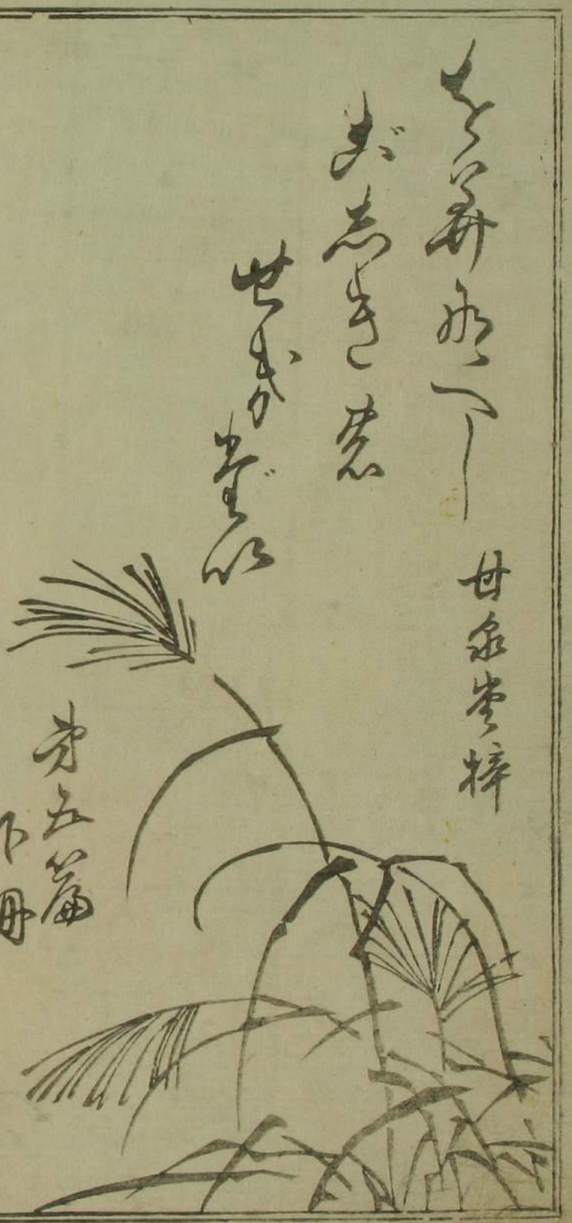
表題曲ろ文字画

女良花五色石墓第五集序

山水渾金有砌石有海水珊瑚あり浮磬あり林水楠檀あり棒散
ばり野水香蘭の多き百部の多き掇戯作者水馬琴子いう數あら
ねども僕も亦小説家の端尾あり同地水産して美悪ある同業ふして
高批あり懸隔既ふ如此是敗將曹い曲叟ダ老後水著述第子ふく
世評も殊水盛なりしう花實未全うらで可惜大筆も真毛の絶る期あらそ
太頃命没ひしまき甘泉堂五色石墓の全部いで江湖水埋れん事を
深く歎ト其嗣編を已水任用嗚呼金玉水瓦礫を代ダ木水散木を
接ふ等き所業ふるがう畫蛇が需の固辞ーぐく此ふ及べべ看官
察ーて拙きを只管免ーふしし

嘉永癸丑歳春王正月

柳下亭種員識



柳下亭種員著

一雄富園雅画

女良花五色石墓第五集

下冊

賊主蒼海王の
老母暴潮

惟光三郎棟利の答景
全四郎經利

その月
老女の
うつし
鏡哉

狗神の
怪異

海賊の張本
蒼海王
悪五郎
範純
寝の心我

誰と呼
杉原紙
小
妹ぶ琴
男婦八九邑のこゑ小萬

赤松家の柱臣
三石将勝の
長子
坂手小太郎
将秀
湯上村東治の
家来
横筋
蓮六

稲の波
御ぞ
なし
右三句
俊曲亭翁口調
作者
自唫
湯上村東治の
家来
間狩
曲平
老婦
老蚊

鷹司殿

女郎花五色石燈

柳下亭種員作

一恵齋芳�control画

黄金水大盞盃

十大編

鳥亦春水作

一恵齋芳藏画

種員作國輝画

風俗相聞

三編

柳下亭種員作

一恵齋芳藏画

恋民部卿

いろは文庫

九編

柳煙亭種久作

同

假名手本

休草紙

十五編 十六編

同作同画

芝神明前

甘泉堂梓

梶尾

五

題より以下一丁半の
馬様の等六編をよろ

兒雷也豪傑譚 柳下亭種員作 九十二編 一惠齋芳幾画

新編金瓶梅 曲亭馬琴作 大尾 一陽齋豊國画

陰戲場猿若真似 山閑人交来撰 半紙本 一冊

小女郎蜘蛛怨苧環 初編 二篇 大尾 一冊

曲亭馬琴作 一雪齋國芳画

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛版

種員作

甘泉文庫

女郎花五色石臺

第六編

上冊

種員作
國蓮畫

第六編
古意堂
甘泉文庫

女郎花若色石臺六編

國運画

種員作

春題曲乃一興

春ふ長き物を何々ぞ果なく引る八重霞その空中ゟ操いと
も幼童遊びゟ風箏の糸並ぶ車端の注連縄或ハ鮓賣の後引
聲なども皆ゟも長き東西ゟるべし未そをとりをなぶめる巻中ゟ在
芦平とゝ段ゞ昔譚眞中ハ此六編ゟ載まで首と尾とハ七編と五編
ゟ垂る話乃形容を擬てまうさんゟハ拝年客ゟ差ぐる棗盤の上
ゟ布なる長尉斗ゟ多ハ季幣ゟをそ讀せまく扨をなごーと
各位の呆て玉章と打蛇眞珠の光明作意ゟ有れバ阿波の男狭磯
が故事とゝ遠く違ど彼國ゟ近き淡路島ゟ蒼海王ゞ生立の一段
況級最々長き春ゟ日ゟ伽草ゟとく四方ゟ驚ゟり

嘉永甲寅木王月

柳下亭種員誌

和泉屋板

播磨國明石浦の
茶鄭の老父
蘆平

司馬の松乃
春風ふき
て尾上の鐘を
ひゞくなり

蘆平が老妻
於鼓

手嵐
半七の
渾家
於花

赤松家の柱臣
三石左エ門正勝

篠原家の従臣
淫川九郎流落して
次路國
松帆浦ふ
漁夫となる
梶藏と号

宗景の傍妻 綯嶋

鳴呼四郎

津名家の目代雨谷

淡路國領主 津名兵庫助宗景

五

天地開闢
此画の老人夫婦ゲのがりの内ふ一五編の末に次ぐよろこ年玉への呼ぶ
鶴嶋峯天地六明神の路國津名郡本鎮坐在て祭神ハ伊弉諾伊弉册二柱の御神此ホ島もる大祭と
月十五日秋吉の体

國輝画

種員作

元治二乙丑春新版

女郎花五色石臺
初編より十編迄大尾
柳下亭種員作
一恵齋芳幾画

黄金水大盡孟
十六編十七編
爲永春水作
一恵齋芳幾画

一壽齋國貞画
諸國繁榮遊與双六

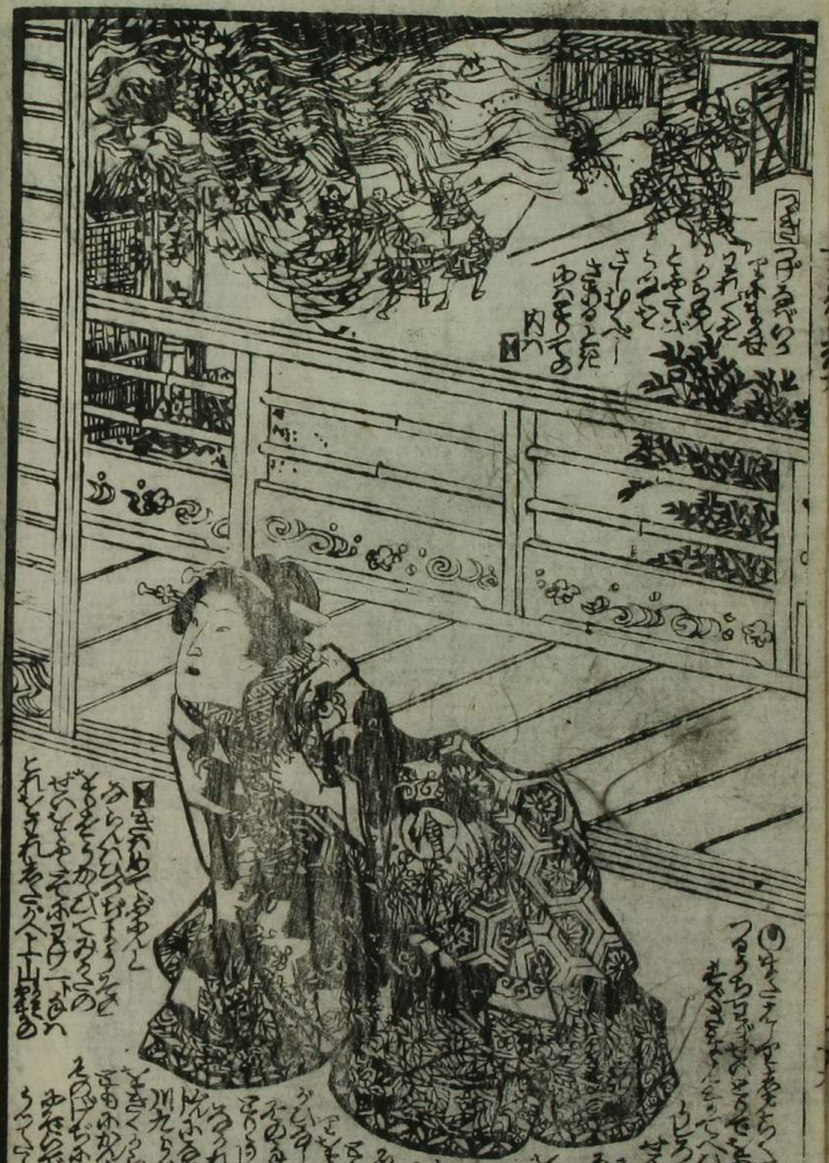
風俗浅間嶽
十三編十四編
柳下亭種員作
一恵齋芳幾画

忠臣貞婦
いろは文庫
八編九編
柳煙亭種久作
同画

假名反古
一休草紙
十五編十六編
同作同画

芝神明前
甘泉堂梓

鷲沢の羽助



崖
宗

津名宗景の首級

赤松家の柱臣三石九郎正勝
窪川九郎七郎淡路嶋ヲ押渡る是七編の趣と見へたり

兒雷也豪傑譚 四十一編 柳下亭種員作 四十二編 一恵齋芳幾画

新編金瓶梅 初編ヶ十編迄 大尾 曲亭馬琴作 一陽齋豊國画

蔭戯場猿若真似 一陽齋豊國翁画 山閑人交來撰 年々出板

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛版

小女郎蜘蛛怨苧環 初編ヶ二篇迄 大尾 曲亭馬琴作 一雲齋國芳画

おもちゃ
太尾
太書
六編
物の字種貝尾
一雄斎国輝画
甘泉堂